

視察報告

先進地に学ぶ

行政視察決算

一人あたり
 航空券、宿泊費など 54,800円(公費負担(上限6万円))
 食事代、視察先手土産代など 20,100円(個人負担)
 計74,900円

教育民生常任委員会は、7月16日～18日の日程で、沖縄県の3町村を行政視察しました。

人材育成交流事業の

発展・米軍基地問題

嘉手納町
かてなちょう

町の83%が基地として接収されている嘉手納町では、基地の存在がまちづくりに支障をきたしている。

また、嘉手納町・大山町の人材育成交流は、今年度で27回目となる。それぞれの町でしかできない体験など、さらなる人材育成につながるよう提案した。



嘉手納町と意見交換

女性長寿日本一

国民健康保険税の現状

北中城村
きたなかぐすくそん

女性長寿日本一となった半面、急速な食の欧米化のためか、65歳

未満の死亡率が著しく高くなっている。

高齢者に生きがいを設け、自宅での閉じこもりを減らす取り組みが参考になった。

長寿に向けた取り組み

こども医療費助成

南風原町
なえばらちょう

北中城村と同様に、65歳未満の死亡率に危機感を感じている。

食生活の改善に向け、健康的な調理法をまとめたカレンダーを作成するなど、食育に力を入れている。

多くの資料をいただき、食育事業の参考になると思われたので、本町担当課に資料を提供した。



はえばるカレンダー
 健康応援レシピ集
 2014.4-2015.3

保存版

テメキュラ市訪問団が議会へ

姉妹都市交流20周年を迎えるアメリカ・テメキュラ市の訪問団が、10月15日日本町議会を訪れました。

議会を傍聴された後、アロン・アダム助役が「10年ぶりの訪問だが、美しい日本の文化や人々とふれ合うことができうれしい。20年の姉妹都市交流を祝うと同時に、再会がかない光栄です。」と日本語でスピーチされました。

議長とのギフト交換では、20年後の再会を約束されました。



来町された訪問団



アダム助役から記念品の贈呈